【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成26年6月26日(2014.6.26)

【公開番号】特開2012-237948(P2012-237948A)
【公開日】平成24年12月6日(2012.12.6)
【年通号数】公開・登録公報2012-051
【出願番号】特願2011-108566(P2011-108566)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｂ　7/16　(2014.01)
Ｈ０４Ｎ　5/238　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　15/05　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　15/03　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　101/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ　7/16
Ｈ０４Ｎ　5/238　Ｚ
Ｇ０３Ｂ　15/05
Ｇ０３Ｂ　15/03
Ｈ０４Ｎ　101:00

【手続補正書】
【提出日】平成26年5月13日(2014.5.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
発光装置を発光させた撮影が可能な撮像装置であって、
複数の測光領域からそれぞれの測光値を取得する測光手段と、
前記発光装置をプリ発光させて前記測光手段により測光を行って得られる、前記複数の測光領域の中の対象領域の測光値と当該対象領域の周辺に位置する複数の測光領域からなる周辺領域の測光値とに基づいて、前記対象領域の測光値に関する情報の補正を行う補正手段と、
前記補正手段により補正された測光値に関する情報に基づいて、前記発光装置の本発光量を演算する演算手段と、を有することを特徴とする撮像装置。
【請求項２】
前記補正手段は、前記発光装置をプリ発光させて前記測光手段により測光を行って得られる、前記対象領域の測光値と当該対象領域の周辺に位置する複数の測光領域からなる周辺領域の測光値とに基づいて、前記対象領域の測光値の補正を行うことを特徴とする請求項１に撮像装置。
【請求項３】
前記補正手段は、前記周辺領域の中における前記対象領域の測光値よりも測光値が小さい領域数に基づいて、前記対象領域の測光値を大きくする補正を行うことを特徴とする請求項２に記載の撮像装置。
【請求項４】
前記補正手段は、前記周辺領域の中における前記対象領域の測光値よりも測光値が小さい領域数が多いほど、前記対象領域の測光値を大きくする補正を行うことを特徴とする請

求項３に記載の撮像装置。
【請求項５】
前記補正手段は、前記周辺領域の中における前記対象領域の測光値よりも測光値が小さい領域のうち前記対象領域との測光値の差分の絶対値が第１の閾値未満の領域は前記領域数に含まないことを特徴とする請求項３または４に記載の撮像装置。
【請求項６】
前記補正手段は、前記周辺領域の中における前記対象領域の測光値よりも測光値が小さい領域のうち前記差分の絶対値が前記第１の閾値より大きい第２の閾値以上の領域は前記領域数に含まないことを特徴とする請求項５に記載の撮像装置。
【請求項７】
前記補正手段は、前記周辺領域の中における前記対象領域の測光値よりも測光値が大きい領域数に基づいて、前記対象領域の測光値を小さくする補正を行うことを特徴とする請求項２に記載の撮像装置。
【請求項８】
前記補正手段は、前記周辺領域の中における前記対象領域の測光値よりも測光値が大きい領域数が多いほど、前記対象領域の測光値を小さくする補正を行うことを特徴とする請求項７に記載の撮像装置。
【請求項９】
前記補正手段は、前記周辺領域の中における前記対象領域の測光値よりも測光値が大きい領域のうち前記対象領域との測光値の差分の絶対値が第３の閾値未満の領域は前記領域数に含まないことを特徴とする請求項７または８に記載の撮像装置。
【請求項１０】
前記補正手段は、前記周辺領域の中における前記対象領域の測光値よりも測光値が大きい領域のうち前記差分の絶対値が前記第３の閾値より大きい第４の閾値以上の領域は前記領域数に含まないことを特徴とする請求項９に記載の撮像装置。
【請求項１１】
前記補正手段は、前記周辺領域の中に前記対象領域の測光値よりも測光値が小さい領域と大きい領域とがある場合、前記周辺領域の中における前記対象領域の測光値よりも測光値が小さい領域数と大きい領域数とに基づいて、前記対象領域の測光値の補正を行うことを特徴とする請求項２ないし１０のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項１２】
撮影レンズの焦点距離に関する情報を取得する取得手段を有し、
前記補正手段は、前記撮影レンズの焦点距離が短いほど前記対象領域の測光値の補正を行う際の補正量を大きくすることを特徴とする請求項２ないし１１のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項１３】
前記演算手段は、前記測光手段により測光を行って得られる前記複数の測光領域の測光値の加重平均値を用いて前記発光装置の本発光量を演算し、
前記補正手段は、前記発光装置をプリ発光させて前記測光手段により測光を行って得られる、前記対象領域の測光値と当該対象領域の周辺に位置する複数の測光領域からなる周辺領域の測光値とに基づいて、前記対象領域の測光値に対する重み付けの補正を行うことを特徴とする請求項１に記載の撮像装置。
【請求項１４】
発光装置を発光させた撮影が可能な撮像装置の制御方法であって、
複数の測光領域からそれぞれの測光値を取得する測光ステップと、
前記発光装置をプリ発光させて前記測光ステップで測光を行って得られる、前記複数の測光領域の中の対象領域の測光値と当該対象領域の周辺に位置する複数の測光領域からなる周辺領域の測光値とに基づいて、前記対象領域の測光値に関する情報の補正を行う補正ステップと、
前記補正ステップで補正された測光値に関する情報に基づいて、前記発光装置の本発光

量を演算する演算ステップと、を有することを特徴とする撮像装置の制御方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上記の課題を解決するために本発明にかかる撮像装置は、発光装置を発光させた撮影が可能な撮像装置であって、複数の測光領域からそれぞれの測光値を取得する測光手段と、前記発光装置をプリ発光させて前記測光手段により測光を行って得られる、前記複数の測光領域の中の対象領域の測光値と当該対象領域の周辺に位置する複数の測光領域からなる周辺領域の測光値とに基づいて、前記対象領域の測光値に関する情報の補正を行う補正手段と、前記補正手段により補正された測光値に関する情報に基づいて、前記発光装置の本発光量を演算する演算手段と、を有することを特徴とする。